

# 所弓便

## 第8号

所沢市弓道連盟会員 302名

年頭にあたって  
—初射会・新年会挨拶より—

会長 新家 透

明けましておめでとうございます。

皆さんが、お元気で初射会に参加して戴き、何よりです。

また、本日は、急なご案内にも拘らず、中村太市議会議長、秋田孝市議会議員、連盟顧問並木正芳先生に御臨席いただき、初射会が開催出来ました。大変有難うございます。

昨年の初射会で、辛卯(かのとう、しんぼう)にあたり、辛(しん)は、草木が枯れて新たな世代が生まれようとする状態であり、卯(ぼう)は、草木が地面をおおう状態とお話しました。偶然とは言え、原発の新たな時代が生まれてしまいました。

また、進まぬ復興のニュース映像で、被災跡地が雑草に覆われてきています。

こんな意味では無かったのですが……迅速な復興を願うのみです。

そんな中でも、昨年、一段と飛躍された方々も居られます。

埼玉弓連では、五月に範士が誕生しましたし、所弓連でも、平山錬士、篠原錬士が六段に、小山五段が錬士になりました。

おめでとうございます。

さて、今年は、壬辰(みづのえたつ、じんしん)にあたります。

壬(じん)は、糸が巻きつけられ膨らんだ状態の糸巻き、これから布を作り出す、大業が仕上がる、との事。

辰(しん)は、土をやわらかくする道具、作物がよく育つ、との事。

と、云う訳で、今年は、所弓連がさらに一段と飛躍を遂げる、二年目の様です。

皆さん、ともに頑張りましょう。

~~~~~

本日は、斎藤体育協会会長、秋田市議会議員、並木先生、中野氏子会会長、三上宮司にご臨席賜り、平成23年の新年会を催すことが出来感謝致しております。

先ほど、初射会で所弓連さらなる飛躍の二年目と申し上げました。

おそらく、今年は、所弓連のホームページが開設出来るのではないのでしょうか。

廣瀬さん、中村さん、土井さん達が検討してくれています。私も知恵を出したいという方は、是非手を挙げて下さい。

骨子が固まれば、部長会、理事会等の承認を受けて、運営組織を作ってスタートする事になると思います。

また、先の理事会で了解いただいている、市弓道場の床の張り替えも実現できるでしょう。

現在、今月末の理事会に向け、見積もりを依頼しているところです。

肝心の弓道修練に付いて、如何でしょう。

皆さん、新年を迎え、今年の目標を立てましたか？私事で恐縮ですが、論語の【三人行えば、必ずわが師有り】を今年の自戒の言葉とします。

意味は、私のホームページのリンクから、論語に学ぶ会のページをご覧ください。

皆さんも今年の目標の達成に向けて、努力し、一段と飛躍しようではありませんか。

以上、挨拶と致します。

## ∞ 各部報告 ∞

## 【総務部】

## 所弓連会員数

2月28日現在の会員数は302名です。

今年度新たに、初心者教室修了生16名、スポーツ少年団関係12名、その他12名、計40名が入会されました。

## 11月以降新たに入会された会員

(入会順 敬称略)

皆さんよろしくお願ひします。

大崎溪太 瀬賀邦夫 藤川楠子 檀原 彰

## 昇段・昇格

(11月1日以降2月19日迄)

昇段・昇格おめでとうございます。

錬士 小山和枝 永田欽一

四段 土井恵美子

三段 松尾みどり 金子暁彦 小山 等

二段 前島あずさ 伊藤祐二 関口研二

関口二郎 清水淳子

初段 杉原 睦 岩城冨香

## 埼玉県弓道連盟長寿表彰

おめでとうございます。表彰式は4月22日埼玉県弓道連盟評議委員会にて行われます。

白寿：橋田榮次先生

米寿：矢野文雄先生 春田孝正先生

## 所沢市体育協会賞

次の方々の受賞が決定しました。表彰式は3月3日午前11時より市民体育館サブアリーナにて行われます。

体育協会功労賞：

小林壽子

体育協会優秀選手賞：

永島英男 下田 徹 三好啓子

増田裕子 横山海友

体育協会優秀団体賞：

石川淳子・増田裕子・松寄恭子チーム

## 熊野神社弓祭・第44回武州弓道大会

所弓連主催の最大イベントである、関東1都6県で活躍している弓道連盟、高校、大学及び実業団の弓友に案内状を送り参加を募集して行なわれる、武州弓道大会が本年も11月23日盛大に開催された。

昨年度から会場を、熊野神社境内の所沢市弓道場から所沢市民武道館に移して行なわれたが、会場を武道館に変更した利点として、

- ① 武道館全館を借り切るので、天候に左右される事なく参加者の受け入れが容易である事。
- ② 屋内が広く待機時間の居場所がある事。
- ③ 射場が広いので(神社道場の2倍)競技進行時間の短縮が出来る事。
- ④ 駐車場が広いので車での参加者が来易い事(来年度からは少々問題が出るかもしれないが)。

等が挙げられるが、その効果を十分に発揮した形で今回の大会は大会歴代4位の439名の参加者を迎えて熱戦が繰り広げられた。



新家会長の先導により、熊野神社遥拝、ならびに道場正面の国旗拝礼の後、鈴木欣三大会副会長による開会宣言。会長挨拶に続き、ご来賓の市議会議員中村太様、市議会議員秋田孝様、所・弓・連顧問並木正芳様より選手への激励のご挨拶を頂きました。

矢渡(射手・新家会長 介添え渡邊・上橋両錬士)の後、熱戦が展開した。439名中、予選通過者は212名(48.3%)で、射詰めによる順位決定戦に移った。

最終的には、狭山弓連の古岡大路(ふるおかだいじ)選手が優勝、竹弓を獲得した。所弓連会員の入賞者は2位粕谷吉一選手、5位中村徳海選手、15位飯島稔凱選手、18位嶺美智子選手、21位下田徹選手であった。

今回2回目の武道館利用であったが、参加者が昨年より100名多く、予選通過者も47名多くなった。予選は3人立3射場で行なったが予選終了時間が既に2時45分。決勝射詰めは3人立4射場にして行い、表彰ならびに閉会式まで終わるには武道館借り切り時間(5時迄)をオーバーしてしまった。会場が変わった事により来年度は参加者が増加する可能性が大であり、今年の経験を、来年度以降に活かしていかなければならないと思う。

滞りなく無事に大会が開催できました事を、役員を担当し、多勢の参加者に全力で対応して下さいました会員の皆様に感謝申し上げます。

### 所弓連新年会

1月15日関東地方特有の乾燥した晴天の中、初射会を終え午後1時30分より熊野神社社務所に於いて、ご来賓に体育協会会長齋藤博様、市議会議員秋田孝様、所弓連顧問並木正芳様、熊野神社氏子会々長中野健治様、それに宮司様をお迎えして、新年会が開催された(会員参加43名)。

来賓の中で、斉藤博様は、大変おめでたい事に、昨年秋の叙勲で「旭日中綬章藍綬褒章」を受けられ、その事をご披露し、大喝采を浴びておられた。

会長挨拶に続きご来賓の方々にそれぞれご挨拶を頂いた。草賀淳相談役の音頭で乾杯を行い歓談に入った。

アルコールもかなり行き渡ったと思われる3時過ぎに、飯島理事長に「メ」をお願いした。そのメの前に、「皆さんがこのように楽しく弓を引く事ができるのも、それぞれのご家庭が安定しておりまた、理解をしてもらっているからであります。そのご家族への感謝も忘れずに」と会場に集まった人全員が“まったくその通り”という気持ちを胸に「1本メ」で新年会を締めくくりました。

### 所 弓 便

1月 6日 8号編集開始

2月28日 8号発刊

### 大 掃 除

12月18日

武 道 館 28名

市弓道場 70名 スポ少の団員が活躍して安土の表面砂全部を入れ替えました。



市弓道場の整備中の安土の前で

## 【指導部】

## 定期講習会

24年1月末までの講習会受講者数  
 橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)  
 受講者 延 74名  
 土曜講習会(草賀先生)(毎月第2土曜日)  
 受講者 延 117名  
 水曜講習会(見原先生)(毎月第4水曜日)  
 受講者 延 129名

## 所弓連四段以下講習会

第1回10月 8日(武道館)  
 講師: 草賀先生 新家先生  
 受講者: 19名  
 第2回 1月21日(武道館)  
 講師: 草賀先生 飯島先生  
 受講者: 16名

## 寒 稽 古

1月7日から11日まで  
 武道館 延べ49名  
 市弓道場 延べ71名

## 【総務部・競技部】

## 所弓連射会

(11月)  
 (13日) 第51回青少年三道大会(武道館)  
 小中学生21名 高校生76名 計97名  
 所弓連会員手伝い34名

## 【団体戦】

小中学生優勝  
 スポ少D 吉田万里映 相川由歩 小寺芽生  
 小中学生2位  
 スポ少A 西原郁哉 伊藤大将 伊藤 颯

小中学生3位

スポ少E 金井雄太 阿部晃司 栗原大智  
 高校優勝  
 所沢北高B 佐藤栞未 川原早紀 山崎麻衣  
 高校2位  
 所沢高D 市川 将 原口拓久馬 石塚遼馬  
 高校3位  
 所沢北高H 丸山 司 坂上逸斗 廣田 勇

## 【個人戦】

《スポ少》

1位小寺芽生 2位伊藤 颯 3位横山海友  
 《個人》  
 総合優勝 天池颯太(弓友会)



個人・団体各入賞者

(23日) 第44回武州弓道大会(武道館)  
 439名参加(対前年97名増加 歴代4位)  
 優勝 古岡大路(狭山弓連)  
 2位 粕谷吉一(所弓連)  
 3位 大野圭太郎(川越高校)

所弓連入賞者

5位 中村徳海 15位 飯島稔凱  
 18位 嶺美智子 21位 下田 徹

(12月11日) 納射会(82名参加 武道館)

## 【団体戦】

1位 元町・若松

甲斐 聡 甲斐健太 下田 徹

2位 中新井・弥生町A

三由憲之 中村裕子 鈴木光昭

3位 西新井・宮本町

長谷川泰子 長谷川栞 石川淳子

3位 けやき台・緑町B

春田孝正 奥富季乃 永島英男

## 【個人戦】

1位 下田 徹 2位 平山夏子 3位 中村徳海

4位 奥富季乃 5位 甲斐久歳

(12月31日～1月1日) 百射会(市弓道場)

参加総数24名 百射修了者18名)

1位 下田 徹 97中

(歴代1位 手島 正先生とタイ記録)

2位 粕谷吉一 84中 3位 山田大介 79中

4位 中村徳海 68中 5位 星川三樹男 61中

6位 住田真美枝 60中 7位 小林康則 54中

8位 元田郁男 50中 9位 平山夏子 49中

10位 小山 等 47中

(1月15日) 初射会(81名参加 市弓道場)

## 《金的賞》

天位 伊藤祐二 地位 森田新助

人位 小山和枝 四位 下田 徹 五位 無

## 《扇的賞》

天位 森谷義弘 地位 廣瀬雅孝

人位 名雪正義 四位 栗原大智

五位 土井恵美子

## 対外射会

(10月)

(16日) 5回所沢市スポーツ少年団弓道交流大会(武道館)

参加団体: 秩父市弓道スポーツ少年団、入間市弓道連盟、朝霞市弓道連盟

参加人数: 小学の部3名、中学男子18名、中学女子20名 計41名

## 《小学生の部》

1位 渡邊乃恵(所沢) 2位 鈴木流渚(所沢)

3位 長谷川栞(所沢)

## 《中学生男子の部》

1位 石田智大(秩父) 2位 西原郁哉(所沢)

3位 伊藤 颯(所沢) 4位 伊藤大将(所沢)

5位 林 雅茂(所沢)

## 《中学生女子の部》

1位 引間彩乃(秩父) 2位 波田美咲(秩父)

3位 堀口真希(秩父) 4位 大濱綾香(秩父)

5位 前野紗希(秩父)



沢山の参加選手と役員

(16日) 第35回女子部弓道大会(県武)

## 《三段以下の部》

5位 塩島佳代

(23日) 三芳町弓道大会兼三芳町弓道連盟  
創立30周年記念大会 1名参加

(30日) 中部・西部支部親善射会(日高)  
170名、西部支部65名、内所沢30名参加  
的中率 中部35.7% 西部41.5%  
2位 粕谷吉一 3位 渡邊徳雄 9位 平山夏子  
10位 元田郁男 12位 中村康代 14位 三好啓子  
18位 小林康則

(11月27日) 第9回埼玉県武道大会(県武)  
《中学生の部個人》  
2位 横山海友  
《一般男子の部個人》  
優勝 下田 徹 3位 星川三樹男

(12月4日) 西部支部納射会(武道館)  
参加人数121名 内所弓連39名  
《3段以下の部》 1位 元田郁男  
《4・5段の部》 2位 中村徳海  
3位 廣瀬雅孝  
《称号の部》 3位 石川淳子

(1月)  
(8日) 埼弓連初射会(県武)  
(所弓連19名参加)  
5位 水口 清

(29日) 西部支部初射会(武道館)  
(139名参加(内 所弓連30名参加))  
《祝射》 六段 平山夏子先生 篠原一郎先生  
錬士 小山和枝先生  
《個人戦》 2位 甲斐久歳

## 【スポーツ少年団】

10月9日 ところざわ祭り 13名参加



11月13日 青少年三道大会  
小学5名 中学15名参加  
23日 武州弓道大会  
スポ少16名 高校生3名参加  
29日 第9回埼玉県武道大会  
支部代表中学10名参加  
12月4日 西部支部納射会 中学9名参加  
17日 スポ少納射会 24名参加  
18日 大掃除(神社道場)  
1月15日 所弓連初射会  
小学6名 中学11名参加  
29日 西部支部初射会

## ∞ 投 稿 ∞

## 第七代会長故鈴木博先生追悼射会

故鈴木博先生追悼射会は、平成23年10月23日市民武道館において御遺族鈴木源太郎様のご臨席を頂き開催されました。

来賓として、所沢市弓道連盟顧問当麻よし子所沢市長(当時)の代理西久保正一副市長、所沢市弓道連盟名誉会長齋藤博所沢市体育協会会長、所沢市弓道連盟顧問並木正芳様の3名の方々のご出席を頂きました。

さらに弓道関係来賓として池谷茂教士六段(上福岡)、森川寛人教士六段(大井)、鳶田富男教士六段(日高)、平塚雄一錬士六段(富士見)、粕谷彰錬士六段(入間)、秋山貴美雄錬士六段(三芳)、山本秀雄錬士五段(日高)、谷口聖治錬士五段(飯能)、市川富久錬士五段(入間)、西野太郎五段(和光)の10名の先生方をお迎えし、所沢弓道連盟会員51名が参加して開催されました。

鈴木弓道連盟副会長の開会の辞に続き、追悼射会奉告祭が純白の齋服に身を包んだ三上嘉徳熊野神社宮司により厳かに執り行われました。御遺族に続き主な参会者の玉串奉奠のあと参加した全員が御遺影に拝礼いたしました。



挨拶は、新家会長、当麻弓道連盟顧問(代理)、齋藤弓道連盟名誉会長、並木弓道連盟顧問からそれぞれ鈴木博先生に関わるお話をいただきました。いずれのお話も鈴木博先生のその大きな人柄を讃えかつ偲ぶものでした。

その後の射会次第は、射手新家会長による矢渡、弓道関係来賓による追悼射礼として、3人立ち一つの射礼2立、4人立ち持的射礼1立が行われ午前の部が終了いたしました。

午後は弓道連盟会員による追悼射が4・5人立ち9立計41名により行われました。最後に射手草賀相談役による納射が行われ、永島指導部副部長の閉会の辞により滞りなく終了いたしました。

新家会長が挨拶の中で「追悼射会奉告祭による降神の儀で鈴木博先生の御霊は、この道場の中にあり皆を見ている。今日の射会は厳粛に行う」と述べられました。その通りに爪甲礼をもって故人に弔意を表した各人の奉射は、終始静粛かつ厳粛に執り行われました。

最後に鈴木博先生が、終生弓道修練の眼目「人間完成の必要」(五常)を修められ、とりわけ「夫婦の別」を強く感じさせるお話を鈴木源太郎様が謝辞の中でご披露されました。拝聴後は参加者全員がかくありたいと思わせる素晴らしい内容でしたので、お許しを得て全内容を次に掲載させていただくことにいたしました。

(山口正彦)

## 鈴木博追悼射会お礼の言葉

## (鈴木源太郎様謝辞)

本日は父博の追悼射会を所沢市弓道連盟の皆様のご配慮により開催して頂き心より御礼申し上げます。

ただいまは所沢市弓道連盟会長の新家透様、ご多忙のところご臨席を賜りました所沢市弓道連盟顧問当麻よし子様、所沢市弓道連盟名誉会長齋藤博様、所沢市弓道連盟顧問並木正芳様には、御丁重なるお言葉を頂戴し厚く感謝いたします。

又、本日は各地区弓道連盟会長様、各連盟の多くの皆様にご参集いただきましたこと、父もさぞ喜んでのことと思います。

父が弓道を始めたのは昭和46年の第1回弓道教室に参加したのが始まりです。

地元の弓道場として西新井町の多くの方が熊野神社境内の弓道教室へ参加しました。

長い間農業に従事し苦勞した父ですが、弓道を始めてから第二の人生ともいうべき道を歩みました。先生方のご指導のもと、熱心に稽古に励み弓道人生といえる毎日でした、そんな父を母は応援し幾つもの歌や俳句を詠みました。

### 【弓道の 合格通知 春の宵】

### 【初心者の 弓道教室 はじまりぬ

矢渡しつまの夫 白き襟元】

### 【寒稽古 いでゆく夫は ぶりかえり

拳手の礼せり 見送る我に】

この会場であります市民武道館、道場開きにあたっては、墓目の儀を市弓道連盟会長として演じられたことは生涯の思い出であったことでしょう。

然し母が脳梗塞で床に伏してからは母の看病に専念、10年の歳月を尽くしました。

そのあいだ、あれほど弓道に打ち込んでいた父が道場にも行かなくなりました。

たまに弓道の友人が来られると、弓道談義に花が咲きそれは楽しそうに話しておりました。

母が亡くなると、父は今までの気力もなくなり、母を追うように逝ってしまいました。

しかし、このように皆様が追悼の射会を開催して頂きました事、私ども家族は衷心より感謝して居ります。

皆様がたにおかれましては、弓道の歴史と伝統を受け継ぎ、更なる弓道の発展に寄与なさいますよう祈念いたしまして、この追悼射会の御礼の言葉とさせていただきます。

### 6段審査によせて

篠原 一郎

6段審査を受けはじめたのは、平成18年の7月の仙台審査からでした。それから何回受審したことでしょうか。

確かこの仙台の時は、甲矢のみでした。6段の審査では、皆中が審査の検討条件と聞いていたので当然ながら受かりませんでした。受けるごとに片矢か、×が当たり前ようになってきました。それに悪いことに、自分自身自覚しないうちに会が短くなっていました。

最初のうちは、あまり深刻には考えていませんでしたが段々稽古中に於いても会が短くなってきました。

稽古の目標を、会を長く持つ事に重点を置き稽古を重ねてきましたが、その結果会、離れのタイミングとがバラバラとなってきたため中りが益々なくなってきました。こんな事が何年続いたでしょうか、そのつど、弓友、先生方から励まされ稽古、審査とも続けてこられました。

そして、平成23年初頭に前より痛みがあった妻手の二の腕が悪化して、弓がまったく引けなくなり治療に専念せざるをえなくなりました。そんなわけで23年度の審査を受けることは無理と断っていました。

そんななか、3月11日の東日本大震災の発生、我が家にとってその地には、親戚、友人知人も多くいましたが、幸い命を亡くされた方はいませんでした。しかし、津波で家を流された人。また田畑を津波、放射能汚染等で耕作を現在放棄せざるを得ない人。それを思うと言葉をうしないます。避難先へ駆けつけたところ、みなさん思ったより元気で少し安心した思いでした。自分もめげず頑張らないと、思いをあらたにしました。

4月位頃より腕の状態も、少しずつ回復傾向にあったので初心者教室用の10kgの弓から稽古を始め5月には、12kgと弓力を上げていき6月には14kgまでの弓が引けるようにまで回復してき



ました。そして、7月には自分の弓16～17\*の弓がどうにか引けるようになってきました。

しかし当然のことながら、弓の状態は全く不調の状態が続いていました。8月、そんな時、誘われるまま県体予選に出て8射2中で私が原因で予選落ち。そして、同月の月例射会の団体戦も8射0中と惨憺たるものでした。

そんな状態の時、初心者の方の先生であった永島先生が見るに見かねて声をかけて下さり稽古時間を調整しながら稽古をすることにいただきました。そして、9月10日の支部選手権で8射5中と今までの状態を考えればまずまずの成績でした。

そして、9月18日念のため申し込んであった神奈川臨時中央審査に臨むことになりました。今回の審査は、自分の状態から考えて皆中しようとか、合格とかの気持ちがわきませんでした。ただ先生に注意されていた8節の一つ一つをどこまで、自分なりにできるかを課題として審査にのぞみました。甲矢も乙矢も会に入っても今回は不思議と中てようという気持ちはわからず、縦横十文字が出来たかどうか別にしてそこだけ考えている内に離れが出て結果的に皆中しました。しかし、退場しても不思議と興奮はなくただほっとした気持ちだけでした。弓友の熊井さんも合格発表まで一緒に待っていて、私の合格を共に喜んでくれました。

まだまだ六段になったという実感は湧きませんが、今までご指導してくれた先生方、多くの弓友の皆さまの御恩に応えるためにも、精進をかたむけ稽古をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

### 錬士に合格して思う事

小山和枝

神様って本当に居るんですね！奇跡としか思えない瞬間でした。

～平成14年に五段を取得して以来、挑戦する事数知れず～的の有るのに当たらない我が身のなさけなさと、それでも受審を途中ではリタイアしたくない私がいきました。

11月の岐阜審査では、周りの人に迷惑をかけないように配慮だけは間違えないように、せめて《緩まない離れ》をしようと実技に臨みました。皆中はしましたが、日頃色々な病癖のある私故、一次審査通過はまず無理だろうと、帰る用意をしつつ、結果を待っていたところ、あり得ない一次通過～自分の番号を見ても、信じられない～当然、二次の面接：実技は緊張故、敢え無く敗退：～

12月の明治神宮の特別審査では、直前講習で教えて頂いた～会は引き分けの延長：ずーっと会：まだ会：まだ会～と思いながら引きました。結果、的に拘らなかったからか皆中して、幸運にも合格できました。

今、思い返してみても 錬士の称号が頂けたのは、埼弓連 所弓連の各先生方、先輩方の辛抱強いご指導とご協力と、神様のおかげと感謝致しております。これでようやく、弓道の入り口～これからも精進して参りたいと思っております。

最後に、特別審査申込書が締め切り間際だった為、速達や電話で間に合うよう対処して頂いた担当の先生方にも大感謝です。

### 弓返りができた日

松尾みどり

昨年9月、式段に合格してからの課題は、「弓返り」でした。毎日、毎日、ただそれだけに向かった稽古。自分はこんなに凝り性だったっけ？と巻藁の前の私がいきました。気が付くといつも、左手を見ていました。「正しい手の内」はどうしたらできるんだろう？先生、先輩方の左手をいつも見ていました。そんな私を見守ってくださった先生方のアドバイスは、夜道を導く一条の明かりとなって、励むことができました。

一年二ヶ月経った日、「スコーン！バッシ！」と的の真ん中に中りました。こんなに軽く！ホームランを打った感じ！これでいいの？！あまりの驚きに、不思議なくらい気が抜けた思いがしました。

先生からお借りした書物の、村上久著「弓射における心・技の帰一」の中の“張る気”にある様々な裏気や似て非なる気に私は支配されていたんだ！と気が付きました。「弓返り」ばかりに気が取られた稽古に陥っていました。心と技が常にバランスを取り合ってこそ、いい射ができるんだ！と、この一年余の時間が導いてくれた気がします。

いつか、「張る気」から「澄む気」「冴える気」へと進むことができるように、稽古に励みたいと心を新たにいたしました。

### 式段審査を受審して

伊藤 祐二

私は、11月13日に熊谷運動公園で行われた地方審査で式段に昇段することができました。5月に初段に合格した時から今回の審査での式段昇段を目標としていたので目標を達成することができて非常に嬉しいです。

当日、私の立ち順は大前でした。初段を受審した5月の審査の時も大前だったので今回の審査はやり易かったです。しかし、本番の実技試験では射形が少し乱れてしまいました。実技試験が終わった後、初段の時とは違い合格する手応えが全然なかったのが落ちたかなと思いましたが結果発表で合格していたのを見て、嬉しい感情と同時に審査員の方々が私の体配を評価して下さった結果かなと思えました。

又、今回の式段合格は、私の力だけではなく、普段私を指導して下さる先生方のおかげだと思います。私を指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。

そして、今回の合格で参段に合格するという新

しい目標を立てました。参段に合格するためには今まで以上に努力する必要があります。私の場合、勉強する身であり、道場へ来て練習する時間は限られてしまっていますが、今まで以上に頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

### 弓道、始めました

杉原 睦<sup>むつみ</sup>

今から十年前、当時入っていた劇団の先輩の紹介で初心者弓道教室に参加したのが、私の弓道との出会いでした。巻き藁の前に立った事以外は何も覚えていないのですが、終了証書が引出しから出てきたので、何とか最後まで通ったみたいです。

その後、道場から足は遠のいてしまいましたが、縁があるとはこういう事でしょうか、先生方が劇団の公演を観に来て下さったり、ところざわまつりで御神輿を担いだり、武道祭の弓道部門の解説(ナレーション)をさせていただいたり、ずっとお付き合いは続いていたのです。

昨年春、近くまで来たからと、先生が会社を訪ねて下さいました。そして「そろそろどう？」と。その時は不思議なくらい自然に“そうだな、そろそろだな”と自分でも思い、弓道を始める事にしました。

初心者弓道教室から十年、何も覚えていない私に、先生は丁寧に指導してくださいます。初段の審査を受けると決めてからは、真剣さも増して更に厳しくなりました。何度も何度も同じ事を言われるのですが、体は言う事を聞かず、涙でかすんだ霞的は十個にも二十個にも見えてきます。

いよいよ迎えた審査の日は、小春日和のいいお天気でした。

終始緊張していましたが、「やるだけやって、結果は自然に任せよう」と、心を落ち着けて審査に臨んだ結果、合格です。指導にあたって下さった先

生方、励まして下さった先輩方に感謝しています。

これからが、本当の弓道の始まりです。技術の向上はもちろん、自分にとって弓道の存在がどうなっていくのかも楽しみです。長く続けられるよう、無理せず、楽せず、頑張っていきたいと思えます。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

## ∞ お知らせ ∞

### 市道場利用料金改定に関わる

#### お知らせとお願ひ

11月1日より、市弓道場(神社弓道場)の料金が変わりました。詳しくは、市の広報をご覧ください。改定のポイントは、従来1的1,000円という料金設定が、武道館同様2時間200円になったということです。所弓連の会員の利用は従前どおりですが、会員外の利用者(以下個人利用者)については大きく変わります。今までは、何時間利用しても同じ料金でしたが、11月からは、2時間200円になります。ただし、高校生以下2時間100円、市内<注>に在住、在勤あるいは在学していない者は倍額です。なお、1時間の利用でも200円です。(半額はありませぬ。)

市弓道場は、所弓連が指定管理者になっています。会員全員が管理者になります。日ごろさまざまな面で市弓道場の維持管理に携わっていますが、個人利用者の受付にもご協力いただきたいと思ひます。個人利用者が来場しましたら、個人利用簿に記入してもらい、利用料金を受け取り、所定の箱に入れ、「確認者」欄にサインをしてください。なお、同じ料金で、近的、遠的両方の利用ができます。以上よろしくお願ひします。

(指定管理者会計)

<注> 市内とは、所沢市と、以下ダイヤプランの飯能市、狭山市、入間市を言ひます。

### 武道館の借り切り予約について

神社道場で所弓連の公式行事(月例射会等)がある場合、会員として連盟行事への参加を優先すべきですので、その時間帯の武道館の借り切りはいたしません。

一例として、神社道場で月例射会(遠的、近的)がある場合は、午前中から午後5時までの借り切りは致しません。

もしその時間帯に個人で利用する場合は個人負担とし、借り切り時間外使用の精算は出来ませぬのでご注意ください。

なお、武道館で連盟の公式行事がある場合、神社道場は原則休館扱いにしますので、その時間帯の使用はご遠慮下さい。

## ∞ 今後の行事予定 ∞

- 3月 3日 指導者講習会 武道館
- 3月 11日 月例射会(遠的、近的) 市弓道場
- 4月 14日 所弓連理事会 武道館
- 4月 21日 所弓連総会 熊野神社社務所

## ∞ 会長月誌 ∞

10月 1日

- ・上福岡弓道連盟四十周年記念射会

10月 8日

- ・県連総務委員会  
表彰規程、地方審査会の支部分担、会員増加策の取り組みについて

10月 9日

- ・熊野神社秋例大祭(飯島理事長代理出席)

10月 13日

- ・市役所打合(同行:飯島理事長、海老名会計)  
弓道場の管理に関する協定書17条の改正、所沢市体育施設設置及び管理条例11条料金の別表改正について

10月 16日

- ・武道祭第1回実行委員会(同行:上橋競技部長)  
役割分担の検討、今後の日程について

10月23日

- ・鈴木博先生追悼射会

11月4日

- ・シティマラソン大会実行委員会総務部会  
開催準備状況について

11月14日

- ・シティマラソン大会実行委員会  
各部会の準備進行状況について

11月19日

- ・県連理事会  
平成24年度行事予定について

11月20日

- ・武道祭第2回実行委員会(同行:上橋競技部長、  
石川競技副部長)  
役割分担の再確認について

11月26日

- ・小澤道春先生範士昇格祝射会・祝賀会(西部副  
支部長として、同行:草賀西部支部参与、  
甲斐西部支部理事長、飯島所沢理事長)

11月28日

- ・体育協会広報委員会  
体協だより第88号校正

12月4日

- ・シティマラソン大会 総務部会総務係

12月10日

- ・武道館に武道団体大会等予約表を提出

12月25日

- ・武道館利用者団体連絡調整会議(理事長外)  
24年度弓道連盟大会等予約完了

12月29日

- ・体協だより第88号(増刊号)校正

1月14日

- ・武道祭第3回実行委員会(同行:上橋競技部長、  
石川競技副部長)

1月21日

- ・埼弓連23年度第3回理事会  
平成23年度事業・決算報告及び  
平成24年度事業予定・予算について

1月24日

- ・所沢市体育協会会長 斎藤 博氏  
「旭日中授章」受賞を祝う会  
(同行:草賀相談役)

## ∞ 編集後記 ∞

故鈴木博先生追悼射会において御遺族の鈴木源太郎様が謝辞の中で紹介された歌は、私達弓道を学ぶものにとって、その詠まれた情景がよく目に浮かぶ内容のものでした。

これらの三首が詠まれた季節は、それぞれ春、夏、冬(正月)の周年に亘っていますが、常に伴侶を暖かく注意深く看ているからこそ生まれた歌ではないかと思えます。

取りわけ“寒稽古”の一首は、ご夫妻の一期一会の気持ちが良くでていたように感じます。

句中【いでゆく】は表記すると「出で行く」の意味ですが、【挙手の礼】から導かれて「出で征く」の意味も併せ持つことにより張りつめた緊張感を持ち、お二人の絆の強さを一層感じさせる秀歌となりました。

あらためて鈴木博先生ご夫妻のご冥福をお祈りいたします。

編集委員

飯島稔凱 小林壽子 甲斐久歳

小林康則 山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第8号

発行日 平成24年2月28日

発行者 所沢市弓道連盟

会長 新家 透